

診断京都

一般社団法人 京都府中小企業診断協会

No.130
2020年夏号



第9期をスタートするにあたって

～「変化 (Change)」「挑戦 (Challenge)」「貢献 (Contribution)」～

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の中、亡くなられた方々のご冥福と感染療養中の皆様方の一日も早い快復を祈念いたします。4月7日に発令された緊急事態宣言



は、5月25日をもって解除され、少しずつ日常が戻ってきましたが、状況はなお、刻々と変化しています。経営戦略やビジネスモデルの抜本的な見直しを迫られている企業も少なくありません。廃業、倒産も増えているようです。一方で、リモートワークなどデジタル技術を用いた新たなビジネスやビジネスモデルも立ち上がっています。

京都協会の令和2年度第1四半期を見ますと、主力の専門家派遣が約8割減少し、研修等の受託事業も中止や延期となりました。ただ足下は、緊急窓口相談事業や緊急コールセンター事業などのコロナ対策事業があり、大きな落ち込みは見られませんでした。会議や研究会等は、3月から引き続き中止、延期となりましたが、緊急事態宣言解除を受けて、オンライン会議システムによる研究会等が再開されています。

こうした中、5月23日(土)に総会を開き(書面総会)、その後の理事会で役割を決めました。新役員は17名で、本誌及び協会ホームページで紹介していますので、ご覧ください。今年度は、対外事業面では、新型コロナ対策関連の受託事業を中心に進めていくこととなります。会員事業の面では、各種会議、研究会等のデジタ

ル化を進めます。理論政策更新研修もソーシャルディスタンスを保ちながら開催する予定です。来年迎える京都協会創立10周年に向けた記念行事等の準備を、若手会員を中心に進めて参ります。

このコロナ・ピンチを会員の知恵と工夫で乗り越え、急速に進んだデジタル化の波に乗り遅れることなく、ゼロから事業を構想し、京都協会の成長・発展をとおして、京都経済の発展、持続可能な未来社会づくりに貢献して参ります。昨年度まで続けてきた社会貢献積み立てを今年もぜひ継続したいと思います。ご協力をお願いいたします。

ところで、京都協会では理念と行動指針として「Change (変化)、Challenge (挑戦)、Contribution (貢献)」の3Cを掲げていますが、国立大学法人宇都宮大学の石田朋靖学長も似たようなことをおっしゃっておられます。結びに代えてご紹介させていただきます。

「高いポテンシャルがあるので、チャレンジすれば大きな成果が得られるはず。そこで、主体的に挑戦し (Challenge)、自らを変え (Change)、社会に貢献する (Contribution) という3C精神を宇大スピリットとして掲げました」「3C精神を持った教育・研究によって、栃木県が持つポテンシャルを顕在化したい」

(月刊事業構想2020年7月号より引用)

(山脇 康彦)

人材開発研究会の成果レポートを発行しました

当協会の一般型研究会である人材開発研究会では、毎年度末に成果レポートを制作していま



す。本年も、研究会会員のうち、有志7名が執筆し、4月に通算5冊目となる2019年度版を発行しました（B5版81ページ）。

今回のテーマは「働き方改革新時代～中小企業診断士が考える企業経営への提言～」で、働き方改革本番を迎えるにあたって、それぞれ自分の研究成果や企業経営への提言を書き綴っています。診断協会事務所には、バックナンバーも含め閲覧用に備置しておりますので、お立ち寄りの際にはぜひ手に取ってみてください。

さて、既にご承知のとおり、突如始まった前代未聞のコロナ禍により、我々をとりまく環境は、単なる働き方改革にとどまらず、労働のあり方そのものに対する抜本的な発想転換に迫られているのではないのでしょうか。換言すれば、あらゆる企業にとって従業員への向き合い方が最重要課題になりつつあり、人材の活用について我々中小企業診断士が活躍するフィールドは、今後間違いなく広がっていくと確信しています。

このような状況のもと、ぜひ研究会で活発な意見交換や情報交換をしてみませんか？

2019年度は19名の会員にご登録いただきましたが、2020年度も協会のメーリングリストで会員募集のご案内をしたところ、早速昨年を超える人数のお申込みをいただきました。年度途中からの参加も可能ですので、ご興味ご関心のある方は奮ってご参加ください。なお、2020年度研究会にご参加いただいた方には、参加特典

として1冊贈呈いたします（在庫限り）。

研究会は、原則として12月を除く毎月最終水曜日19時～20時半、診断協会事務所で行っています。

運営方法としては、各回の担当者に自由に発表や問題提起をしていただき、その後、全員で議論したり、情報交換するスタイルを採用しています。ただし、デリケートな話題もありますので、安心安全な場として、守秘義務は守っていただくことが条件になります。勤務・独立の別や経験・知識の有無は一切問いませんし、毎回の出欠は自由ですので、ご都合に合わせて、お気軽にご参加いただけます。

ちなみに、昨年度の研究会では、「中小企業の人材採用」「障害者雇用の現状について」「NLP（神経言語プログラミング）の初歩解説 実践心理学によるコミュニケーション」「A社の組織風土改革」「銀行が見る融資のポイントと人材育成」「いまさら聞けない働き方改革」「業務日報による人材育成教育」「組織理解のためのビジネスエスノグラフィ」など多種多様、興味津々のテーマが議論され、これだけでも皆さんの関心分野の広さが実感できるのではないのでしょうか。

お問い合わせは、運営責任者藤村正弘 (mail@fujimura-ms.jp) まで。

(藤村 正弘)



独立診断士として新型コロナウイルス危機に対して行っている支援

アクセルコンサルティング株式会社 代表取締役 岡原 慶高

2020年6月現在、ようやく緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）と共存しながらも、通常の事業活動に少しずつ戻していこうという動きが出てきています。

私も含めて独立診断士の方は、クライアントとの面談がしにくくなったり、専門家派遣やセミナーが延期・保留になったりと、少なからず影響を受けています。企業内診断士の方も会社でコロナの影響を受け、働き方等に変化が求められるようになってきていると思います。

そのような中で私自身が、独立診断士として行っている支援について、いくつか書かせていただきます。

① 戦略再構築支援

業種業態にもよりますが、当社クライアントのある会社では、withコロナ・afterコロナをにらんで、「コロナ後に選ばれる会社となるためには何が必要か」「コロナ後の顧客の困りごとは何か」「コロナ後に顧客がその顧客から選ばれる会社になるために当社はどのような提案ができるか」ということを、社内の主要メンバー7名とともに、戦略レベルから検討しました。その結果、「徹底的にクリーンな環境をお客様に提供する」というコンセプトのもと、新規取り扱い商材を調達し、社内のスペースで展示会を開催することとしました。もちろん、リアルでは「密」に配慮しながら来場してもらいます。同時にZoomを使ってオンライン展示会を行い、またその様子を動画として録画することで、その後の販促材料として使うことになっています。

今がまさに転換期だと考え、この状況をチャンスと捉えた時にどのような戦略が描けるのか

をクライアントとともに考え、戦略の具体化を支援しています。

② マーケティング支援

特に3月～5月の間、対面営業が行いにくくなりました。既存顧客についてはZoom等のオンライン会議システムを活用してコミュニケーションを取ることができますが、新規顧客開拓ができずに困られている会社、あるいはこれから困ってくる会社もたくさんあるようです。対面営業を極力少なくしながらも新規開拓するための、メールを使ったマーケティング支援を行っています。

③ 情報提供

コロナの影響によって、中小企業者向けの補助金・助成金が国・京都府・京都市から出され、どこの何をみればわかるのか、という経営者の声がありました。当社では、「コロナ時代の小規模企業対応ガイド」として、小規模企業者が今使える補助金・助成金・融資等の情報とともに、企業経営において今考えるべき視点等を取りまとめた無料冊子を作成しました。メールマガジンやWEBサイトで配信して、情報提供を行っています。

④ オンライン対応

今後、診断士側のオンライン対応は必須になります。コロナが収束したとしても、変化した価値観は大きく戻りそうにありません。対面相談がなくなるわけでもありませんが、オンライン対応はますます重要になると考えます。オンラインでの打ち合わせ、セミナー等に対応でき、クライアントにもその使い方の指導ができるよう実践しています。



今回から3回の連載を担当します足立早恵子と申します。よろしくお願ひ致します。連載のテーマは「人を動かす技術」。広告宣伝に不可欠な人の心を動かす要素とその活用法、そして、その危険性と自己防衛術についてお話しします。

第1回目のテーマは「平凡なモノを魅力的に見せるテクニック」。最初にちょっと危ない話をしましょう。皆さんの中にも宣伝文句に乗せられて魅力的な商品だと思って買ったものの、手にしてがっかりしたという経験があるのではないのでしょうか。なぜ、そのような「がっかり」な商品を魅力的だと思ってしまったのか？そこには売り手の強かな戦略が隠されていたのです。

何年か前に「家売るオンナ」という、主人公が訳ありの不動産を売りまくるといふ内容のドラマがありました。残念ながら1回も観たことがないのでドラマで使われた手法はわかりませんが、アメリカの不動産業者には難のある物件でもうまく販売につなげるテクニックがあるそうです。それは、「おとり」と呼ばれるやや見劣りする物件を活用することだそうです。見劣りする物件を先に見せ、後から「本当に売りたい物件」を見せると、無意識のうちに「おとり」と比較し、「本当に売りたい家」が実際より魅力的に映るのです。この効果を知覚のコントラストと言います。倫理的に良いか悪いかは置いておいて、アメリカの不動産業者にとって一般的なテクニックということで「やり手」と言われる業者は皆活用しているそうなのです。

これはかなりグレーな手法で決して推奨できるものではありません。しかし、一方で、こうした手法があることを知っておくことは、自分

が消費者の立場になった時に「がっかり」な商品を買ってしまわないように自衛することに繋がります。「おとり」に比べて反射的に「いいな！」と思ってもそこで飛び付かないことが重要です。他の比較商品を見る、少し時間を置くなどして頭を冷やすことで後悔するような買い物は避けられるのです。

しかし、この「知覚のコントラスト」が利用できるのはこうした阿漕な商売だけではありません。真つ当な宣伝活動にも活用できる技術なのです。

さて、ここで問題です！

何種類か商品のラインナップがある時、トータルで売上を最大化したい場合、プライスリストはどの順番にしたらいいでしょうか？

1. 一番安価なものから順番に並べ、最後に一番高価なものを記載する。
2. 一番高価なものから順番に並べ、最後に一番安価なものを記載する。
3. 価格は関係なく、売りたいものから順番に記載する。

答えは2です！

高価なものから並べると、中間ぐらいの価格の商品がお手頃価格に感じられます。逆に、1の安価なものから並べた場合、中間価格の商品が割高に感じられてしまうのです。ちなみに、3の場合は知覚のコントラストの効果は全く得られません。

もちろん、人を騙す目的でのテクニックの活用は言語道断ですが、ちょっとした工夫はPRの効果を増幅させるのも事実なのです。

(足立 早恵子)

研究会一覽

研究会名	代表者	開催日	2020年度の活動方針、 京都府協会新入会員へのメッセージ
		連絡先	
経営革新支援研究会	松下 晶	原則、毎月第2水曜日 shomtst@gmail.com	そのときどきの旬のテーマで協会内外の専門家を講師にお招きしてご講義いただき、講義後にはざっくばらんに交流できる懇親会を毎回開催しています。スポット参加もOKですのでぜひ気軽にご参加ください♪
プレゼンスキルアップ研究会	中西 昭人	原則、毎月第1火曜日 ashtray1999@gmail.com	話し方などを評価、互いにフィードバックして研鑽します。テーマに沿った3分スピーチ、読んだ本を紹介するビブリオバトル、ランダムな画像に合わせて話すパワポカラオケなどを中心に行います。ぜひお越しください。
コンサルティング能力向上研究会	坂田 岳史	年間4回(春夏秋冬) sakayan@daiconn.co.jp	中小企業診断士として、診断・助言・指導を行い成果を出す為に何が必要か、具体的に何をやる等について、主に京都協会実績がある会員が自身の経験等に基づきコンサルティング能力に役立つ話をさせていただきます。ぜひお越しください。
人材開発研究会	藤村 正弘	12月を除く毎月最終水曜日 19時～20時半 mail@fujimura-ms.jp	「人材」についての診断士の関わり方について、学びあう研究会です。毎年、研究成果レポートを発行しており、関心のある方なら経験不問。2019年度は19名が参加。2020年度は新企画として事例研究も予定しています。
事業承継支援研究会	岡原 慶高	原則各月開催 okahara@accelc.co.jp	現在登録メンバーは25名です。研究会単独の勉強会を始め、会計士協会京滋会や弁護士会(2020年度から)とも連携しながら、メンバーの事業承継支援に関する知識習得とネットワーク構築をサポートしていきます。
ウィキ京都研究会	松下 晶	原則、毎月第2木曜日 shomtst@gmail.com	中小企業経営におけるITを活用した課題解決について、Web・SNSやAI・IoT、クラウド、ビッグデータ、5Gなどの最新の動向を題材にしながら和気あいあいと研究をしています。
楽集会	森井 義英	原則、毎月 y.morii@nkk-lab.com	参加希望の新入会員が殺到するおなじみ「楽集会」ですが、昨年度は政策研究分科会も立ち上げました。今年度はこうした分科会活動や会員交流のさらなる活性化をはかります。充実した診断士活動を送りたい皆様は是非!
食と農のビジネス研究会	藤本 勉	原則、毎月第3水曜日 fujimoto.tsuto6@gmail.com	農業、食品産業、飲食店等のコンサルティングのための研究を行い、農業から食品業界全般まで、幅広く自由に議論します。食品と農業関連のビジネスに関心のある方を歓迎します。支援経験が浅い会員の研鑽の会です。

※新型コロナウイルスの影響で、開催スケジュール等が変更になっている場合があります。参加を希望される場合は、必ず事前に各代表者の方へお問い合わせください。

第8回 通常総会開催

一般社団法人京都府中小企業診断協会の第8回通常総会は、新型コロナウイルス対応のため、令和2年5月23日に定款18条に則り、書面開催されました。なお今回は役員改選があることから、緊急事態宣言の解除後の京都府等の対応方針を勘案し、感染対策を講じた上で、都ホテル陽明殿にて対面でも開催されました。正会員188名のうち、144名の書面出席により総会が成立しました。

第1号及び第2号議案の令和1年度事業報告及び収支決算書が承認され、また第3号議案及び第4号議案の事業計画案、収支予算書についても承認されました。



第5号議案では、役員改選が付議され、17名の理事と2名の監事が選出されました。総会後に開催された第1回の役員会で、山脇氏が会長に、副会長については、岡原氏、坂田氏の両名が再任されました。選出された役員は以下の通りです。

(杉村 麻記子)

役員名簿

(役職別、50音順)

会長	山脇康彦	
副会長	岡原慶高	
副会長	坂田岳史	
常任理事	神戸壮太	
常任理事	坂本淳	
常任理事	四方浩人	
常任理事	多田知史	
常任理事	藤井明登	
常任理事	松井宏次	
理事	秋田英幸	初
理事	大井義雄	初
理事	賀長哲也	
理事	小林康夫	
理事	杉村麻記子	
理事	藤村正弘	
理事	前田剛	初
理事	湯川俊彦	初
監事	市山優	
監事	安田徹	

今回、初選出となった理事の方（4名）から、一言意気込みをいただきました。



秋田英幸

秋田英幸と申します。年齢は46歳ですが、登録は2002年ですので協会歴は意外と長く、役員の方とも仲良くさせて頂いており、いよいよお声がかかったか……というところです。頑張りますので宜しくお願い致します。



大井義雄

1996年に診断士登録し、2006年から京都協会に所属しています。2月末に高島屋を退職し、現在、お隣の京都物産出品協会に勤務しています。これまでの経験を活かして、京都の中小企業の成長を強力にサポートしていきたいと思っております。



前田剛

この度、理事に就任いたしました前田剛でございます。微力ではございますが、診断士の活躍する機会が増し、事業者・診断士・社会の発展に誠心誠意努めて参ります。何卒、ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



湯川俊彦

診断士6年目の湯川俊彦です。この度、理事を拝命いたしました。今後も事業者の皆さまのお役に立つことに専念しつつ、京都協会の発展に少しでも寄与できるよう精進させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

はんなり診断士



角丸 善昭
(かくまる よしあき)

京都ジョブパーク
京都府中小企業人材確保・
多様な働き方推進センター

昨年（2019年）1月に京都協会に登録し、お世話になっております角丸善昭と申します。現在は京都府の就労支援機関「京都ジョブパーク」にて中小企業に対する採用ブランディング支援を行っています。また協会では人材開発研究会、食と農のビジネス研究会、楽集会の3つの研究会に所属し、活動しています。

もともとは大阪生まれ大阪育ちの人間ですが、前職の家電メーカー時代に通算10年間海外勤務を経験したため、帰国子女である2人の娘の学校の関係で京都に住み始め、現在に至って

います。

仕事中に「うそやろ！」と思わず叫んでしまった試験の合格発表から早くも2年以上が過ぎました。振り返ってみると、これまで知らなかった新しい世界が広がり、充実した日々を送ることができたなあ、と実感しています。元来好奇心が旺盛なことに加え、「迷った時はとりあえず動いてみる」という想いでいろいろチャレンジした結果、取材・執筆や地方の商工団体向け研修講師などの貴重な体験もすることができました。また協会の研究会等を通じて知り合った診断士の方々からたくさんの刺激もいただき、大変感謝しております。

本年度からは現職も非常勤勤務に変更し、診断士としての活動や専門性を磨くための自己研鑽を、より充実させていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。



松長 由宇子
(まつなが ゆうこ)

独立行政法人
中小企業基盤整備機構
近畿本部

皆様、こんにちは。2019年5月に診断士登録を行い、同年7月に診断協会に入会しました、松長と申します。自宅は大阪府吹田市、勤務先は堺筋本町です。自宅も勤務先も大阪ですが、京都協会のアットホームな雰囲気には吸い込まれて今に至ります。研究会には、昨年は楽集会とウィキ京都研究会に所属しておりました。今年は、さらに活動の幅を広げていけたらいいなと思っています。ちなみに出身は広島県です。

これまでの経歴ですが、同志社大学を卒業後、2013年に富士通株式会社に入社し、総合病院向けに電子カルテなどのICTソリューション

の提案・販売を行っていました。その後2017年に株式会社日本経営に転職し、病院経営のコンサルティング業務に従事しました。

診断士の勉強を開始したのは、社会人2年目の秋でした。「何億という経営的なインパクトの大きい商材を買ってもらうのだから、本来は病院の経営のことを分かっていたらダメだろう」という危機感と、将来のキャリアへの不安を感じたのが勉強を始めたきっかけです。そして1次試験合格後、兵庫県立大学大学院の養成課程に入学し、社会人と学生の二足のわらじ生活を2年間過ごしました。

この4月より、独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）近畿本部企業支援課にて嘱託職員として働いており、主に販路開拓コーディネイト事業を担当しています。嘱託ですが週5で出勤しておりますので、中小機構にお越しの際はぜひお声掛けください。

京都府中小企業診断協会 会員数とその異動 (31.4.1 ~ 2.3.31)

	期 首	期中増加	期中減少	期 末
正 会 員	158人	26人	4人	180人

種 別	増 加							減 少			
正 会 員	入 会	今 城 偉 賀 入 口 拓 哉	退 会	富 田 英 樹							
		岩 崎 弘 之 梅 田 一 樹		森 川 啓 史							
		大 萱 芳 久 大 沼 玲 哉		塩 谷 英 樹							
		佐古井 宏 佐々岡 満		沢 井 狩 行							
		佐 藤 智 美 佐 藤 誠									
		谷 口 賢 中 西 慧									
		西 村 大 登 尾 源一郎									
		林 憲 司 判 治 雅 俊									
		昼 間 康 裕 古 澤 智									
		松 長 由宇子 眞 弓 賢									
		三 木 壽 山 村 恵 子									
		山 本 真 輔 米 田 大 作									
		小 計	24人	小 計	4人						
	転 入	高 橋 誠		転 出							
		高 前 直 輝									
		小 計	2人	小 計	0人						
計			26人			4人					

編 集 後 記

春号より診断京都のリニューアルを行い、中小企業支援機関や金融機関の事業紹介のコーナーを拡大する予定でした。しかし、この状況の中、夏号では、協会内の診断士による記事を充実させました。「新たな日常」で「変える」ことを、企業対応の現場だけでなく、あらゆる場面で求められています。協会内の一部の研究会もオンラインで開催され、平日の夜、外出しづらい方（私も含めて）、遠隔の方などの参加のハードルも下がりそうです。「変える」ことを意識してやっていきたいですね。

(阪本 純子)

京都診断協会の行事予定

- 8月1日(土) 理論政策更新研修(1回目)
 - 11月8日(日) 理論政策更新研修(2回目)
- <10月予定より変更>

診 断 京 都	No. 130
2020年7月発行	
一般社団法人京都府中小企業診断協会	
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町	
78番地 京都経済センター403	
TEL (075) 353-5381	
FAX (075) 353-7540	
メールアドレス info@shindan-kyoto.com	
ホームページ https://www.shindan-kyoto.com/	
印刷所 懶大気堂	TEL (075) 361-2321
	FAX (075) 361-5047